

# 豊中みどりの交流会

こんな活動をしています！

みなさんのご参加  
お待ちしております！

## 花苗プロジェクト

【“SEED”をもっと知ってください】

活動拠点である SEED (シード) は、ビオトープとよなか四季彩園、マリノード豊中スイミングスタジアムなどがある「ふれあい緑地」の一画にあります。

SEED の中には、三棟の育苗ビニールハウス、モニメントなどがあり、円形、ハート型など数多くの花壇を管理しています

種蒔きからの育苗を中心とし、腐葉土作り、花壇整備など月2回 SEED で活動を行っています。また、活動内容を決める定例会議を月1回行っています。

SEED のことを多くの方々に知っていただき、活動に参加してもらいたいと思います。

## みどりのカーテンプロジェクト

今年度も多くの学校に参加いただきありがとうございました。今年度は、32校 2,463人の参加、こども園等施設では、36か所の皆さんに参加いただきました。

みどりのふぉーらむ

2015では、豊島西小学校の生徒に発表していただきました。ゴーヤの種まき、苗の植え付け、苗の生長観察、ゴーヤ発祥の地である沖縄県についての学習内容などが発表されました。



## みどりの学習プロジェクト

みどりに関して広く学ぶ視点から、ヒント集の作成、見学会などを行っています。みなさんにみどりに関して学んでいただけるよう、引き続き取り組んでいきます。たくさんのご参加お待ちしております。

## 地域緑 Book プロジェクト

私たちのプロジェクトでは、みどりの活動をされている団体の活動に体験参加して、地域緑 Book を作成しています。「私たちの活動取材してほしい」「自分たちの活動を多くの方々に紹介したい」とお考えの団体のみなさん、お知らせください。



## みどりのつどい

日時 平成28年3月20日(日)  
10:00~12:00  
場所 花とみどりの相談所(豊島公園内)

内容 発表

第35回緑の都市賞  
国土交通大臣賞受賞  
「千里竹の会」

大阪ランドスケープ賞 2015  
大阪府知事賞受賞  
「豊中緑化リーダー会」

豊中みどりの交流会次年度活動計画

意見交換 など

お問合せ 豊中みどりの交流会事務局  
(豊中市 公園みどり推進課)  
☎06-6843-4121

### 【編集後記】

「ひろげよう人とみどりのわ」をテーマに開催しました。みどりのふぉーらむ2015もおかげをもちまして10回目を終えることができました。第1回を開催していた時期には、小学校参加は1校でしたが、年々増え、多い時は36校のみなさんに参加いただきました。今後も緑化推進や授業支援として頑張っていきたいと思っております。

(入江)



豊中みどりだよりは、みんなで、どんどん、りょっか(緑化)しよう!という意味を込めて、豊中市でみどりの活動を進められている方に向けて発信するニュースです。



Toyonaka Green Action

## 特集 みどりのふぉーらむ 2015



### 『みどりのふぉーらむ 2015』を開催しました!

■「ひろげよう 人とみどりの“わ”」をテーマに、11月8日「とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ」にて開催しました。

おかげさまで、たくさんの方にお越しいただき、盛況のうちに終えることができました。

▼基調講演: 中川 均 さん(豊中生物同好会事務局・大阪府鳥獣保護管理員)『森との出会い』

▼報告発表: 豊中みどりの交流会、豊中市立豊島西小学校、豊中市環境部公園みどり推進課

▼パネル展示: 市内小学校(30校: 桜井谷・熊野田・克明・野田・南丘・豊島・寺内・新田南・箕輪・新田・北緑丘・庄内・庄内西・大池・東豊中・東丘・豊南・原田・野畑・緑地・刀根山・桜塚・豊島西・蛭池・豊島北・桜井谷東・上野・小曾根・庄内南)、市内こども園(小曾根・島田・野田・原田・豊南西・高川・栄町・東丘・本町・庄内西)、ゆたか保育園・ひかり保育園、春日荘聖マリア幼稚園、豊中文化幼稚園、豊中親和会みらい、豊中親和会第2みらい、豊中愛和会あすなろ、豊中きらら福祉会きらら作業所、上野デイハウスしもつき、幸楽の里、奥アンツーカー(株)環境部環境政策課、高川老人デイサービスセンター、庄本老人デイサービスセンター、消防本部、豊島体育館環境部北部事業所、原田学校給食センター、豊中人権まちづくりセンター、東豊中地域福祉活動支援センター、くらしかん、豊中緑化リーダー会、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21、竹炭塾、豊島北ビオトープクラブ、親和自治会、上野連合花壇同好会、豊中駅前まちづくり推進協議会、親和自治会、豊中みどりの交流会 (順不同)

▼体験コーナー: 花苗のポット上げ体験、工作、花苗プレゼント



基調講演 『森との出会い』

豊中生物同好会事務局・大阪府鳥獣保護管理員 中川 均 さん



今日のお昼に食べたものを思い出してください。例えばカレーライス。そして、使われている食材を思い浮かべてください。一般的にカレーライスに使われる食材は、お米、牛肉、たまねぎ、じゃがいも、にんじん、カレー粉などがあります。お米、たまねぎ、じゃがいも、にんじん、カレー粉（香辛料=スパイス）は“植物”に当てはまります。そして残りの牛肉ですが、牛は植物を食べて育ちます。つまり人間は、直接的に、また、間接的に“植物”を食べて育つといえます。カレーライス以外の料理で考えても、使われている食材の多くは植物との関係性があります。このことから、“人間”と“植物”は切ってもきれない関係であるといえます。

中学校でも勉強する内容ですが、植物を草食動物が食べ、草食動物を肉食動物が食べる“食物連鎖”という関係性があります。また、植物は“光合成”という働きを行い、二酸化炭素を吸収し、酸素を生み出します。人間をはじめとした生物は、酸素を吸い、二酸化炭素を吐きますが、この“循環”こそが、生物と植物の関係性といえるのではないのでしょうか。



“薬”という漢字には、“草を食べて楽になる”という語源があります。人類が初めて植物を口にしたときに、おいしい植物は野菜、不思議な力をもつ植物は薬と判断したことから、薬の歴史は始まりました。人間は多くの経験や研究を重ね、野草が持つ栄養から多数の薬を作りだしました。

“後は野となれ山となれ”ということわざですが、広辞苑によると“現在さえよければ、これから先はどうなっても構わない”と書かれています。日本では“耕作を放棄すれば、田や畑はいずれ草が生え野原になり、木が生えて森になる”ことから生まれたとされていますが、海外には、耕作を放棄すれば砂漠化してしまう地域もあります。

食料生産に使った水を“バーチャルウォーター（仮想水）”といいます。仮想水が多い食材は“肉”で、牛や豚などのエサとなる穀物を1t作るのに1,000tの水が必要です。計算すると、牛丼1杯にかかる仮想水は、約1,800ℓとなり、風呂桶10杯分にもなります。

私は、“少し立ち止まり、耳を澄ませると自然は、そっと語りかけてくる。感動する心を大切に・・・”という言葉大切にしており、大人は、そういったことを子どもたちに教え込むのではなく、仲介者として子どもたちに自然と触れ合う機会を与え、自分自身で自然を感じてもらうことが大切と感じています。

●中川 均 さん（豊中生物同好会事務局・大阪府鳥獣保護管理員）

豊中生物同好会事務局・大阪府鳥獣保護管理員。  
市内中学校の理科教諭を経て、市内小・中学校教頭、豊中市立第六中学校校長を歴任。  
平成25年4月までの約20年に渡り、広報とよなかの「風物詩」を執筆。  
淀川での鳥獣調査や箕面での探鳥会、豊中市教育センター保存の標本整理など活動を継続。  
著書に「千里川の野鳥・樹木～四中夜間学級との出会い」(2013年)など。



「みどりのふぉーらむ」で発表していただいた豊島西小学校のみなさんに、みどりのカーテンづくりの取組みについて感想をいただきました。

「緑のカーテンづくりから沖縄学習に」 豊島西小学校

豊島西小学校での「緑のカーテン」づくりは、今から8年前に、「プランター、土、肥料、苗などの準備」など、豊中みどりの交流会の方々に丁寧なご指導をいただきながら始めました。当初、ゴーヤ栽培は環境教育の面を強調した「カーテンづくり」が中心であったと思います。

4年生使用教科書「たのしい理科」では、ゴーヤ栽培が理科学習の生物教材の主たるものとして、土づくりから枯れた様子の観察まで、1年間を通して学習するようになっています。通常、私たちは「ゴーヤ」と言いますが、これは、沖縄（おきなわ）でのよび方で、「ツルレイシ」や「にがうり」とも言われ、教科書には「ツルレイシ」で書かれています。

6月初旬の金曜日に豊中みどりの交流会の方々に来ていただき、ゴーヤの育て方についての大切なポイントを子どもたちに教えていただきました。

- ①一つ目は、土づくりです。「とよっぴー」や他の肥料を入れて、良い土づくりをすること。
- ②二つ目は、ゴーヤの双葉が土に埋もれないように植えること。
- ③水やりを朝夕しっかりとすること。
- ④摘芯をし、わき芽をしっかりと育てること。



子どもたちは教えをきちんと守り、みんなで作業し、水やりをがんばりました。4年生の担任は、これらのゴーヤを育てる学習から、次のような発展学習を計画しました。

- 計画1 沖縄民話に親しむ機会を作る。
- 2 沖縄の歌に発展させる。
- 3 運動会で「沖縄の民舞」エイサーを演技種目にする。
- 4 学習発表会で、上記の内容を含めた発表をする。

これらの内容を子どもたちに意識させるために、イメージマップを作成させることにしました。出てきたのは「にがいがい」「ぼこぼこ」「緑」「カーテン」「チャンプル」「沖縄」「シーサー」「暑いところ」などでした。また、「沖縄」のイメージマップでは、「シーサー」「海がきれい」「首里城」「エイサー」「基地」「ハワイ」「さとうきび」「台風が多い」などでした。子どもたちは、それなりにゴーヤから沖縄へとイメージを膨らませることができたようでした。

発展学習では、図書時間に「沖縄の童話」「とんとんみーと きじむな」の読み聞かせを図書の先生にお願いしました。また、音楽の授業では三線を使って「島唄」を歌う指導をしていただきました。そして、運動会では「エイサー」をしっかりと練習し、3年生と一緒に楽しく踊りました。ゴーヤ学習のまとめとしての学習発表会では、ゴーヤの学習から学んだことを音楽表現で学習発表しました。内容は合唱「ハイサイシーサー」「さとうきび畑」「島唄（しまうた）」リコーダー奏「ファミレウタ」で、曲との間に「ゴーヤで学習したこと」の感想等を入れ、学校のみならず、お家の人に報告しました。今年の「緑のカーテンづくり」は、幅の広い学習に発展させることができ、子どもたちにはよい学習になったと思います。ちなみに、育てて収穫した「ゴーヤの実」は、子どもたちが持ち帰って食材にし、学校では学級ごとに「ゴーヤジャム」を作り美味しくいただきました。

「みどりのふぉーらむ2015」～ひろげよう 人とみどりの“わ”～に参加させていただきありがとうございました。参加した子どもたちには、とても良い経験と学習の場になりました。お世話になりました。

子どもたちの感想から

- ・わたしは白いゴーヤと緑のゴーヤをしゅうかくしました。どこがちがついているかと思いきや違ってみると同じようにぶつぷつとしていました。
- ・黄色くなってわけてしまったゴーヤの中を見ると、赤いものが見えました。なめてみると少しあまかったです。赤いものをとってみると種が出てきました。すごいなあと思いました。
- ・ジャムを作りました。さとうをたくさん入れてにつめていきました。あじみをしたら苦かったです。
- ・3年生と「エイサー」をおどりました。手や足を大きく動かしました。「じょうずだったね。」とおうちでほめられてうれしかったです。
- ・学習発表会で大きな声でセリフが言えました。「さとうきび畑」も心をこめて歌いました。合奏もじょうずにできてうれしかったです。